

国語科年間評価計画（第三学年）

期	月	指導事項				学習材	学習目標	時数	学習活動	評価規準	主な評価資料・評価方法
		関心・意欲	A 話す・聞く	B 書く	C 読む						
前期	4					永久欠番	詩の意味を考えながら朗読する。	1 1 詩の中の言葉の意味をとらえる。 2 言葉の意味を考えながら音読する。 3 この詩の表現の仕方の特徴などについて気づいたことを紹介し合う。 4 作者の思いを伝えるために朗読を工夫し合う。	・詩の中の語句の効果的な使い方に注意して、言葉の意味を理解し、音読・朗読に生かしている。	《通年》 観察記録法 発表による評価 自己評価 相互評価	
						俳句を味わう	作者の表現に学び、優れた言語感覚を身につける。	1 「学習のポイント」を参考に、俳句の形式を理解し、5句の俳句の言葉の意味をとらえる。 2 「学習の課題」に取り組む。	・季語の役割を理解し、俳句に表現されている場面や作者の思いと共に言葉の意味をとらえて味わっている。		
						発声の上達を目指そう	発音や呼吸に気をつけて発声の練習をする。	1 学習材の流れに沿って、掲載されている文章を使って発声練習をする。 2 好きな文章を選び、暗唱する。	・音声のはたらきや仕組みに関心を持ち、話したり聞いたりして理解を深めている。		
						句会を開こう	句会を開き、俳句を作る。	1 学習材を読んで句会の流れを理解する。 2 俳句を作る。 3 進行役を決めて句会を開く。	・音声のはたらきや仕組みに関心を持ち、話したり聞いたりして理解を深めている。		
						言葉の移り変わり	言葉や文法の変化について考える。	1 学習材を読んで言葉の移り変わりについて考える。 2 最近の言葉遣いについて、本文の例や他の例を挙げて話し合う。 3 言葉の移り変わりについて意見や感想をまとめる。	・語彙や文法の変化について、その原因や言葉による受け取り方の違いなどに注意して考えている。		
						助動詞[たがら・なかっ・た・らしい・です]	助動詞のはたらきと意味を知る。	1 学習材を読んで助動詞について関心を持つ。 2 P182「助動詞」を使って助動詞のはたらきと意味を理解する。	・助動詞のはたらきと意味を理解している。		
中期	5					メディアを学ぶ	情報とのかかわり方を考える。	1 「メディアを学ぶ」を通読し、語句の意味を確認しながら大意をとらえる。 2 「学習の課題 a」の最初の課題に取り組む。 3 イギリスでのメディアの授業の目的は何か、まとめる。 4 「テレビ映像の本質」を通読し、語句の意味を確認しながら大意をとらえる。	・目的を持ってさまざまな文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てている。		
						テレビ映像の本質		5 「学習の課題 a」の二番目の課題に取り組む。 6 「学習の課題 b」に取り組む。	・文章の構成や展開、説明や描写などの表現の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる。 ・目的を持ってさまざまな文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てている。		
						書写〔行書を書こう〕	行書の特徴を深めて書き、日常生活に生かせるようにする。	6 1 行書の特徴を理解して、漢字やかなを正しい筆順で書く。	・行書の特徴を理解して、漢字やかなを正しい筆順で書こうとしている。		
後期	6					聞き上手になろう・創造的に聞く	自分自身の考えを広げながら話を聞く力を養う。	1 学習材を読み、聞き上手になるためのあらししをつかむ。 2 「課題」に取り組む。	・より広い範囲から話題をとらえ、話したり聞いたりしながら、自分のものの考え方を深めている。 ・自分が話したり、相手の話を聞いたりしながら、興味を持って広い範囲に話題を求めている。		
						広告・宣伝文を作ろう	相手に推薦したいものについて、その魅力が効果的に伝わるように表現する。	1 学習材を読み、CDジャケットを作るためのあらししをつかむ。 2 「課題」に取り組む。	・文章の形態に応じて、書き出しや中心部分の展開など適切な構成を工夫している。		
						送り仮名	送り仮名の原則と例外とを理解する。	1 活用のある語の送り仮名のつけ方について、原則と例外とを理解する。 2 活用のない語の送り仮名のつけ方について、原則と例外とを理解する。	・慣用句の性質や用法を理解している。		

			形が固定した言い方	慣用句について考える。	1 1 学習材を読み、慣用句の性質を理解する。 2 P240「形が固定した言い方」を参照し、慣用句について理解を深める。	
			(導入) 生活の中の読書	自分と比較しながら作品を読み、生活の中で読書に親しむ。	1 1 読書生活を充実させるためのさまざまな方法を知る。	
			卒業ホームラン		6 1 注を参考に言葉の意味をとらえ、全文を音読する。 2 登場人物と人間関係をまとめる。 3 全文をいくつかのグループで分担する。さらにそのグループ内で地の文と登場人物の役割を分担して朗読劇の練習をする。 4 朗読劇をする。	・文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くしている。
7			ごはん		1 1 注を参考に言葉の意味をとらえ、全文を音読する。 2 「ごはん」を読んだ感想文を書く。または、食べ物にまつわる自分の思い出をエッセイ風に書く。	・文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くしている。
			見よう 読もう 楽しもう		1 1 本についての情報を交換し、読書生活を充実させるための資料として活用する。	・さまざまな文章から必要な情報を集めるための読み方を身につけている。
			紛らわしい漢字	形や音の似た漢字について違いを理解し、漢字に関心を持つ。	1 1 形・音の類似した漢字を比較して書き分けられるようにする。 2 紛らわしい漢字のうち、三字以上がグループとなっている漢字を比較して書き分けられるようにする。 3 ・の問題に取り組み、学習内容を確認する。	・活字と書き文字の字体の違いについて理解し、関心を持っている。
			敬語 [× 本田先生、おりましたら……]	敬語のはたらきと使い方を知る。	1 1 学習材を読み、敬語のはたらきと使い方、分類について理解する。 2 P186「敬語」を参照し、敬語の種類と使い分けについて理解を深める。 3 P187の練習問題に取り組み、学習内容を確認する。	・敬語についての理解を深め、場面や相手によって正しく使い分けている。
9			万葉・古今・新古今	古典の優れた表現やリズムを読み味わう。	1 1 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の成り立ちや特色等を知る。 3 2 「学習の課題」に取り組む。 3 「学習のポイント」を参考に、和歌の修辞について理解する。(枕詞、序詞、掛詞、体言止め。)	・和歌の特徴をとらえ、リズムや意味の切れ目に注意して朗読している。
			おくのほそ道		1 1 「おくのほそ道」の文学的価値や芭蕉について知る。 2 「学習の課題 a」の最初の課題に取り組んで、歴史的仮名遣いに注意しながら古文を音読し、現代語訳と照らし合わせて大意を知る。 3 「学習の課題 a」の二番目の課題に取り組む。 4 「学習の課題 b」に取り組む。	・漢語的な表現や対句的な表現という文章の特徴やリズムを生かしながら音読・朗読をしている。
			漢詩二編		1 1 漢詩を読み味わい、脚注を参考に、それぞれを現代語に直す。 2 「学習の課題 a」に取り組む。 3 李白と杜甫について知る。 4 「学習の課題 b」に取り組む。 5 「学習のポイント」を参考に、漢詩の形式について知る。	・漢詩の形式や漢文特有の表現などの特徴やリズムに注意して音読・朗読をしている。
			四字熟語・熟字訓	四字熟語や熟字訓の成り立ちを理解し、関心を持つ。	1 1 四字熟語の構成を知る。 2 ~ の問題に取り組み、四字熟語への理解を深める。 3 熟字訓の成り立ちを知る。 4 の問題に取り組み、熟字訓への理解を深める。	・四字熟語や熟字訓を正しく読んでいる。
			語と語のつながり	類義語や関連語について考え、語彙に関心を持つ。	1 1 学習材を読んで、意味の関連する語(類義語・関連語)について知る。 2 P241「語と語のつながり」を参照し、類義語や対義語、その他いろいろつながりの語があることを理解し、類語辞典の存在や語の配列の仕方などについても知る。	・類義語や対義語、その他いろいろつながりがある語について理解している。
			千曲川旅情のうた	日本語の調べを味わう。	1 1 詩の言葉の意味をとらえる。 2 日本語のしらべを味わいながら朗読する。 3 朗読を発表し合う。	・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、音読・朗読に役立っている。

10		言葉に関する名言集	言葉に関する名言の意味を考え、味わう。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、それぞれの名言の意味を考える。 2 好きな言葉を選び、声に出してみる。ひかれた理由を発表し合う。 3 自分でも「言葉に関する名言(感想)」を書いてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。 ・課題に対する自分の立場、伝えたい事実や事柄を明確にしている。
		テクノロジーとの付き合い方	文章を読み比べて自分の考えをまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「テクノロジーとの付き合い方」を通読し、大意をつかむ。 2 「学習の課題 a」の最初の課題に取り組む。 3 「テクノロジーと人間らしさ」を通読し、大意をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てている。 ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。
後		テクノロジーと人間らしさ		<ol style="list-style-type: none"> 2 「学習の課題 a」の二番目の課題に取り組む。 5 情「学習のポイント」を参考に、情報を比較しながら批判的・多面的に見ることを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てている。 ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。
		説得力のある話し方をしよう	相手を納得させるための話し方を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで、相手を納得させる話し方のあらましをつかむ。 2 「課題」に取り組む。 3 「話すことの自己評価」を行い、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりしている。
期		主張を書こう	根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して、主張を述べる文章を書く。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで、「根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して、主張を述べる文章を書く」ことのあらましをつかむ。 2 「課題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の立場、伝えたい事実や事柄を明確にしている。 ・自分の意見のもととなる根拠を明らかにし、文章の内容が相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。
		間違いやすい言葉	読み間違いやすい言葉や書き間違いやすい言葉を正しく理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 読み間違いやすい言葉を正しく理解して読めるようにする。 2 書き間違いやすい言葉を正しく理解して書けるようにする。 3 ~ の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み間違いやすい言葉や書き間違いやすい言葉を正しく理解して、読んだり書いたりしている。
11		あいまいな文 [橋本さんともうみに行った]	正確に伝わる文の書き方を考える。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで、文の意味があいまいになる原因を理解し、言いたいことが正確に伝わるようにする方法を知る。 2 P188「あいまいな文」を参照し、あいまいな文と分かりやすい文を比較し理解を深める。 3 P189の練習問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文を書くために、文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて考えている。
		故郷	文学的な文章を読み、自分の感想を深める。	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し、あらすじをとらえる。 2 辞書などを活用し、分からない言葉の意味を調べて理解する。 3 「学習の課題」に取り組む。 4 「学習のポイント」を参考に、この小説を読んだ感想文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持っている。
		自己PRスピーチをしよう	エピソードを交えて、自分を紹介する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで自己PRスピーチの仕方のあらましを理解する。 2 7~8人のグループに分かれてテーブルスピーチをする。 3 話し方のよかった点、よく工夫されていたところなどを交流し合い、次に生かすようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容や意図に応じた説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりしている。
		発想を変えよう	ある作品をもとにした書きかえをする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで、書きかえについてのあらましを知る。 2 次から一つを選択して書きかえをする。 3 作品を発表し合い、鑑賞し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の形態に応じて、書き出しや中心部分の展開など適切な構成を工夫している。 ・自分の書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、魅力ある文章を書いている。
		漢字いろいろ	よく使われるいろいろな漢字を理解し、言語生活を豊かにする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定の分野でよく使われる漢字を理解し、読めるようにする。 2 単位や数字を表す漢字を理解し、適切に書けるようにする。 3 順番を間違いやすい漢字の並びに注意を払う。 4 これまで習った以外で、よく使われる常用漢字を学ぶ。 5 ~ の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いやすい漢字やよく使われる常用漢字を適切に読んだり書いたりしている。
	12	書写	日本の伝統行事である「書き初め」の理解を深めて書き、三年間の書写活動のまとめと、これからの思いを込めて書き初めをするようにする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の伝統行事である「書き初め」の理解を深めて書き、三年間の書写活動のまとめと、これからの思いを込めて書き初めをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統行事である「書き初め」の理解を深めて書き、三年間の書写活動のまとめと、これからの思いを込めて書き初めをしている。

			百人一首	日本の伝統行事である「百人一首」の理解を深め、三年間の活動のまとめと、百人一首大会への練習に取り組むようにする。	6	1 日本の伝統行事である「百人一首」の理解を深め、三年間の活動のまとめと、百人一首大会への練習に取り組む。	日本の伝統行事である「百人一首」の理解を深め、三年間の活動のまとめと、百人一首大会への練習に取り組んでいる。
1			(導入) わたしの国語学習	学習の内容や方法を工夫して、言葉の学びを豊かにする。	1	1 「学習の流れ」を読み、学習のあらましをつかむ。 2 P155～163の三つの学習材をひととおり読んで、興味を持った点や学習したい事柄を発表し合う。 3 授業者と相談しながら学習材を選択し、学習計画を立てる。 4 計画に従って学習を進める。	
			万葉集を当時の音で読む		6	【学習計画例1】 「万葉集を当時の音で読む」を読み、自分たちでも言葉について気になっていることを調べてみる。 (1)学習材を読み、万葉集を当時の音で読むための三つの証拠についてまとめる。 (2)言葉について気になっていることを発表し合う。 (3)情 各自が一つずつテーマを決め、学校図書館やインターネット、インタビューなどにより情報を集めて分析・検討し、まとめる。	・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解している。
			ひとすじの道		6	【学習計画例2】 「ひとすじの道」を読み、自分の過去・現在・未来についての思いをまとめる。 (1)筆者が「道」について述べている、いろいろな言い方を抜き出す。 (2)それぞれの「道」について筆者はどのように述べているかをまとめる。 (3)「ひとすじの道」で述べられていることを参考にして、自分の過去・現在・未来について考える。 (4)思いを文章にまとめる。	・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てている。
			詩二編 道程・レモン哀歌		6	【学習計画例3】 「詩二編 道程・レモン哀歌」を読み、朗読の仕方を工夫する。 (1)ノートに二編の詩を書き写す。 (2)詩の中の言葉の意味を調べたり考えたりして、書き込む。 (3)言葉の意味を考えながら音読する。 (4)この詩の表現の仕方の特徴などについて気づいたことを紹介し合ったり感想を述べ合ったりする。 (5)どちらか一編を選び、作者の思いを伝えるために朗読を工夫し合う。	・詩の中の語句の効果的な使い方について注意して言葉の意味を理解し、朗読に生かしている。
2		(まとめ)		2	5 学習のまとめ(発表)をして、学んだことを互いに交流する。		
			話し合いで問題を解決しよう	問題を解決するための話し合いの仕方を学ぶ。	3	1 学習材を読み、問題を解決するための話し合いの仕方のあらましをつかむ。 2 「課題」に取り組む。 3 「話し合うことの自己評価」を行い、学習を振り返る。	・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めている。
3			時を超える手紙	過去を振り返ったり未来を展望したりして、思いを手紙の形で書き表す。	3	1 学習材を読み、「過去を振り返って あの時言えなかった感謝の手紙」と「未来へ向かって 自分への励ましの手紙」の内容と書き方のあらましをつかむ。 2 「課題」に取り組む。 3 書いた作品を作品集として印刷・製本し、読み合う。 4 カードに感想を書いて交換し、作品集の貼付用のページ	・自分の書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、魅力ある文章を書いている。 ・互いの作品を読み合い、文章を通して相互理解を深めると共に論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などさまざまな観点から相互に検討し、自分の表現に役立てている。

